

仏で食のイベント 川越の団体が報告

東松山

若手企業家でつくる川越Style倶楽部（日疋好春代表）は、1月にフランス・ストラスブール市で行われた川越の魅力伝えるイベント「川越とアルザスの味が会おうとき」の報告会を東松山市で開いた。

ストラスブール市との出会いは昨年9月、同市で行われたヨーロッパアンフェアに川越Style倶楽部が名誉招待を受けたこと。川越の伝統文化や食の魅

イベントではフレンチと日本食材のコラボも多数創作した（川越Style倶楽部提供）



にはなじみがあるが、大部分は日本人が経営しているわけではない。昨年のイベントでは『本物の日本人が来た』と好評で、ビール、しょうゆ、みそなどを、川越でまじめに作っている人がいることを知った。料理には意味があり、もつと互いの食べ物の紹介ができる場を持ちたい」と話した。（今村耕一）

新たに15施設 PPSを導入

4月から加須市

東京電力による電気料金値上げを受け、一部施設の電力を特定規模電気事業者（PPS）

バッグと靴の専門店



あぶらや

浦和駅西口前
Tel.048-822-2342
〒330-0063
さいたま市 浦和区 高砂1-6-10
http://www.aburaya.co.jp

力で約20万人の観客を魅了し、地元メディアにも報じられた。1月のイベントでも川越の特産品を使った料理を振る舞うなど「おいしい川越」を演出した。双方の橋渡し役を務めたエステル・ミケルさんは「フランスにも日本店は多数あり、日本食